

2024 年度

兵庫医科大学大学院
(神戸キャンパス)

学生募集要項

I 期・II 期入試

博士
課程

薬学研究科

 兵庫医科大学

建学の精神

学校法人兵庫医科大学は、
次の三つの大きな礎石を「建学の精神」としている。

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験実施(出願処理・試験実施) ②合格発表 ③入学手続および、これらに付随する業務以外には使用しません。

その他、個人情報保護に関する法規に基づき、可能な限り厳重なセキュリティー対策を施します。

問い合わせ先 兵庫医科大学 (神戸キャンパス) 神戸教学課 大学院係

〒650-8530 神戸市中央区港島1丁目3番地6

TEL (078) 304-3014 (直通)

E-mail : daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp

目 次

兵庫医科大学大学院(神戸キャンパス) 入学試験概要	1
--	---

薬学研究科	2
アドミッションポリシー・募集人員・出願資格・日程・各種書類の提出先・ 出願手続き・試験日・試験会場・選抜方法・入学資格審査申請・ 身体的に支障または障がいをする者の出願・試験当日の注意事項・ 合格者発表・入学手続き等	
薬学研究科概要	7
担当教員の連絡先	11
授業科目一覧	12

試験会場アクセス	13
-----------------------	----

出願書類一式 (本学ホームページよりダウンロードの上、両面印刷にてご使用ください)

兵庫医科大学ホーム>学部・大学院>大学院>入学案内(大学院)>大学院入学試験 募集要項

<https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/graduate/admission/requirements/>

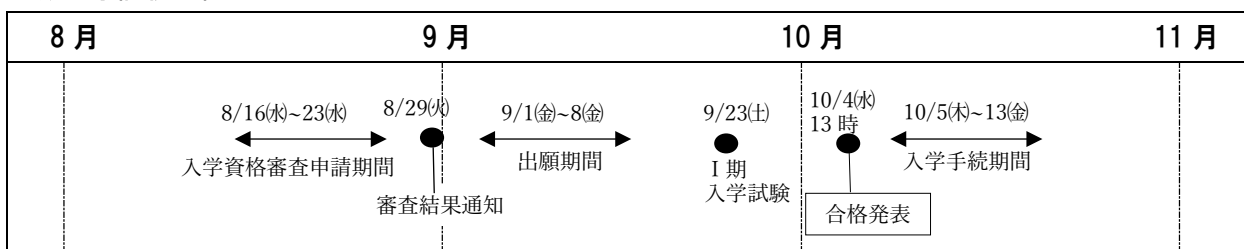


兵庫医科大学大学院(薬学研究科)入学試験概要

I 期

I 期入学試験 募集人員 3名

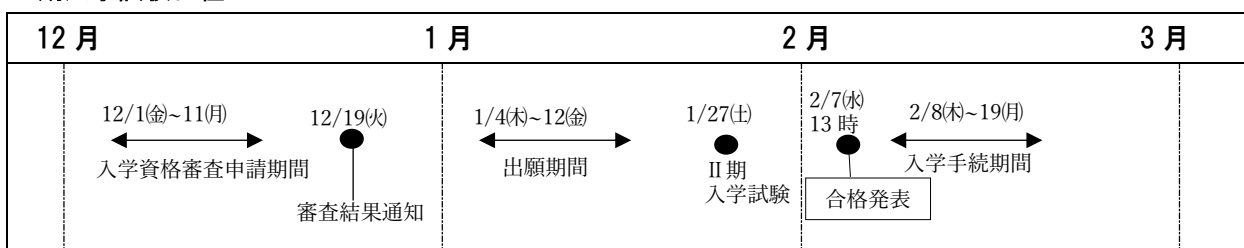
I 期入学試験日程



II 期

II 期入学試験 募集人員 若干名

II 期入学試験日程



事情により入試日程に変更が生じる場合は、ホームページ上でお知らせします。

薬学研究科（Ⅰ期・Ⅱ期）

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本研究科の理念に共感し、高度な研究能力を有する医療専門職者、そして医療薬学の問題を解決したいと願う薬学研究者を目指す以下のような人材を求めます。

1. 高度な研究能力を獲得する基盤となる薬学に関する基礎知識を有する人。
2. 薬学に関する最先端の情報を獲得するために必要な外国語の能力を有する人。
3. 医療の現場における問題点を明確化し、それを解決する研究能力を身につけたいという意欲を有する人。

入試との連関

1. 専門科目：高度な研究能力を獲得する基盤となる薬学に関する基礎知識を判定する。
2. 外国語：薬学に関する最先端の情報を獲得するために必要な外国語の能力を判定する。
3. 面接：医療の現場における問題点を明確化し、それを解決する研究能力を身につけたいという意欲を持っているかどうかについて判定する。

募集人員

Ⅰ期	3名
Ⅱ期	若干名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ①大学の医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者
(入学日前月の末までに卒業見込みである者を含む)
- ②修士の学位又は専門職学位を有する者(入学日前月の末までに学位取得見込みである者を含む)
- ③外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む)
- ④外国において、学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学)を修了した者
(入学日前月の末までに修了見込みである者を含む)
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥研究科において、個別の入学資格審査により、第1号又は第2号に定める者と同等以上の学力があると認められた者で、入学日前月の末までに24歳に達した者

日程

	Ⅰ期	Ⅱ期
試験日	2023年9月23日(土) (予備日24日(日))※2	2024年1月27日(土)
出願期間	2023年9月1日(金)～9月8日(金)	2024年1月4日(木)～1月12日(金)
入学資格審査 申請期間 ※1	2023年8月16日(水)～8月23日(水)	2023年12月1日(金)～12月11日(月)
合格者発表	2023年10月4日(水) 13時	2024年2月7日(水) 13時
入学手続き期間	2023年10月5日(木)～10月13日(金)	2024年2月8日(木)～2月19日(月)

※1 出願資格⑥により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

※2 Ⅰ期のみ、台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

各種書類の提出先

〒650-8530
神戸市中央区港島1丁目3番地6
兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

出願手続き

1 出願期間

I 期	2023年9月1日（金）～9月8日（金）【必着】
II 期	2024年1月4日（木）～1月12日（金）【必着】

出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。
持参の場合には受付時間は土日祝日を除く平日9:00～17:00とします。

2 出願書類等

該当する学歴に応じて必要な書類ならびに共通の必要書類を準備してください。

・共通の必要書類

必 要 書 類		摘 要
①	入学願書	本研究科所定の用紙（様式1）
②	志望理由書	本研究科所定の用紙（様式2）
③	受験票・名票・ 「振込証明書(大学提出用)」貼付票	<p>本学所定の用紙 上半身、脱帽、正面、3ヵ月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>入学検定料 30,000 円を払込んでください。（出願期間の2週間前よりお振込いただけます。） 「振込証明書(大学提出用)」あるいは ATM 利用明細を貼付票に貼り付けてください。インターネットバンキング利用の場合、振込明細を印刷し、出願書類に同封してください。</p>
④	返信用宛名ラベル用紙	<p>本学所定の用紙 3通分に郵便番号、住所、氏名を記入したもの。 入学試験合格者に対して、入学手続き書類等を送付するために使用します。</p>
⑤	受験票返送用封筒	<p>受験票送付の際に使用します。 定型封筒(長形3号)に郵便切手 344 円（速達料金）を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。</p>
⑥	長期履修申請書	教員に事前相談して申請許可を得た者のみ提出すること。

※証明書の厳封について 偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

・6年制薬学部卒業(見込)者の必要書類

必 要 書 類		摘 要
⑦	薬学部成績証明書	出身大学の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。本学卒業見込者は不要です。
⑧	薬学部卒業(見込)証明書	出身大学の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。本学卒業見込者は不要です。

・旧課程4年制薬学部卒業者（平成17年度以前の入学者）の必要書類

必 要 書 類		摘 要
⑦	薬学部成績証明書	出身大学の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。
⑧	大学院修士課程成績証明書	該当する者のみ。 出身大学院の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。
⑨	修士の学位証明書	該当する者のみ。
⑩	出願資格認定書の写し	入学資格審査を経て出願する者のみ提出すること。

※証明書の厳封について 偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

・修士課程修了見込者の必要書類

必 要 書 類		摘 要
⑦	修士課程成績証明書	出身大学の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。
⑧	修士課程修了見込証明書	

※証明書の厳封について 偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

3 出願方法

出願書類をとりまとめ、角2の封筒により「書留速達郵便」で送付してください。

「封筒貼付用宛先用紙」（本学所定の用紙）に必要事項を記入の上、封筒の表に貼り付けてください。

4 受験希望分野の担当教員との事前相談

出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡をとり、博士課程において取り組みたい研究内容について相談してください。

その場合、神戸教学課 大学院係（電話 078-304-3014）まで連絡するか、あるいはメールにて教員と直接連絡をとってください。担当教員のメールアドレスは11ページを参照してください。

長期履修制度については担当教員に相談の上、「長期履修申請書」（本学所定の用紙）を出願書類に同封してください。

5 出願上の留意事項

- ・出願書類が不備な場合には、受理しません。
- ・出願書類に虚偽があった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- ・いったん提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・書類が受理されたときは、受験票を速達郵便で送付します。
- ・受験票を受け取ったら、ご自身のものであるか必ず確認してください。
- ・試験日の2日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に電話をして指示を受けてください。

試 験 日

I 期	2023年9月23日（土）（予備日24日（日））※
II 期	2024年1月27日（土）

※I期のみ、台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、9月22日（金）15時までに本学ホームページにて通知します。

試 験 会 場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

選 抜 方 法

試験科目	試験時間
外国語(英語)	10:00～11:00 (60分)
専門科目	11:30～12:30 (60分)
面接	13:20～

注) 外国語(英語)の試験には、英語の辞書(ただし、電子辞書を除く) 1冊の持ち込みを認めます。

入学資格審査申請

出願資格⑥により出願を希望する者は、出願前に審査が必要なので、次の必要書類を取り揃えて提出してください。

(1) 必要書類

必要書類	摘 要
① 入学資格審査申請書	本研究科所定の用紙(様式3)
② 出願資格認定審査結果通知用封筒	定型封筒(長形3号)に郵便切手779円(書留速達料金)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。

(2) 受付期間

I 期	2023年8月16日(水)～8月23日(水)【必着】
II 期	2023年12月1日(金)～12月11日(月)【必着】

申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず書留速達郵便としてください。

持参の場合には、受付時間は土日祝日を除く平日9:00～17:00とします。

(3) 認定結果の通知

審査の結果は、下記の日程までに申請者宛に通知します。

I 期	2023年8月29日(火)
II 期	2023年12月19日(火)

身体的に支障または障がいをもつ者の出願

身体的に支障または障がいをもつ入学志願者で、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の1か月前までに神戸教学課 大学院係(078-304-3014)へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を送付していただく場合があります。

試験当日の注意事項

- ・試験当日は試験開始15分前(9時45分)までに必ず入室してください。試験開始後30分以上の遅刻は認めません。
- ・受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に受付に申し出て、「仮受験票」の発行手続きをしてください。
- ・受験室内では試験監督者の指示に従ってください。また、不正行為とみなされる態度があった場合は、退室を命じ、全科目を無効とします。
- ・試験時間の途中で退出することはできません。
- ・筆記用具は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルでも可)とプラスチック消しゴムに限ります。
- ・下敷・定規・コンパス・計算機(電卓など)、および計算・辞書機能などの付いた時計の使用は認めません。
- ・携帯電話や音の出る機器は、受験室に入る前に必ずアラーム設定を解除のうえすべて電源を切り、カバンに収納してください。携帯電話を時計代わりにすることは認めません。

- ・原則として「ウェアラブル端末」を試験会場へ持ち込まないようにしてください。試験当日、誤ってウェアラブル端末を持ち込んだ場合は試験開始前に試験監督に申し出てください。申し出がなく以後に所持していることが判明した場合、不正行為として取り扱う場合があります。
- ・試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため公共の交通機関を利用してください。

合格者発表

I 期	2023 年 10 月 4 日 (水) 13 時
II 期	2024 年 2 月 7 日 (水) 13 時

- ・本学ホームページ上 (<https://www.hyo-med.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲示します。
- ・学内掲示は行いません。
- ・合格者へは、合格通知書および入学手続き書類を**書留速達郵便**で送付します。
- ・不合格の通知は送付しません。
- ・電話・郵便等による合否の問い合わせには応じません。

入学手続き等

1 入学手続き期間

I 期	2023 年 10 月 5 日 (木) ~10 月 13 日 (金) 【必着】
II 期	2024 年 2 月 8 日 (木) ~2 月 19 日 (月) 【必着】

2 手続き方法

入学金および授業料(前期分)を、所定の振込用紙で振り込み、入学手続き書類を書留速達郵便で送付してください。全ての入学手続きを完了した者には入学許可書を送付します。

3 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 200,000 円 (前期分)
- (3) 教育充実費 50,000 円 (前期分)

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学(旧 兵庫医療大学を含む)出身者および、学校法人兵庫医科大学の教職員として通算 5 年以上の勤務実績のある者については、入学金を免除します。

※後期分の授業料 200,000 円および教育充実費 50,000 円は、本学所定の振込用紙により、入学した年の 10 月以降に納付して頂くことになります。

※長期履修制度利用者は、個々に履修年限に応じた金額を通知します。

4 提出書類等

入学手続きに必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

なお、社会人として病院等に在職したまま就学しようとする者は、所属長の「就学承諾書」(様式自由)の提出が必要となります。

※上記の期限までに入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

5 入学辞退をする場合

入学手続きを完了した者で入学を辞退する場合、2024 年 3 月 29 日(金)午後 5 時までに本学所定の入学辞退届および入学許可書を添えて提出した者は、入学金を除いた学納金の返還を請求することができます。ただし、一旦提出された入学手続き書類は返還しません。上記期限以降に辞退した場合、入学手続き書類および納付金は一切返還しません。

教育目的

- ①薬剤師業務の質向上と変革を推進するために不可欠な高度研究能力、すなわち臨床現場における問題点を発見し、それを解決するために適切な研究計画を立案し、その成果を論文化できる能力を涵養する。
- ②医療薬学における問題点を基礎薬学の視点から眺め、それを解決しうる基礎的・実験的研究課題を自ら設定し、新しい薬剤・製剤・臨床適応の開発に発展できる能力を涵養する。

教育課程

薬学研究科では、専門基礎科目、専門演習科目、研究指導科目の3つの科目で構成されています。専門演習科目は16科目、研究指導科目は12分野から構成されています。

科 目 名	
薬学 専門基礎科目	必修科目 「先端医薬学特論Ⅰ」、「先端医薬学特論Ⅱ」、「先端医薬学特論Ⅲ」、「先端医薬学特論Ⅳ」
薬学 専門演習科目	選択科目 「医薬品創製科学演習Ⅰ」、「医薬品創製科学演習Ⅱ」、 「免疫病態制御学演習Ⅰ」、「免疫病態制御学演習Ⅱ」、 「神経薬理・薬物治療学演習Ⅰ」、「神経薬理・薬物治療学演習Ⅱ」、 「微生物学演習Ⅰ（基盤的微生物学演習）」、「微生物学演習Ⅱ（先進的微生物学演習）」、 「分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅰ」、「分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅱ」、 「医薬品適正治療科学演習Ⅰ（分子薬物動態学演習）」、 「医薬品適正治療科学演習Ⅱ（臨床ゲノム薬理学演習）」、 「応用医療薬学演習Ⅰ」、「応用医療薬学演習Ⅱ」、 「呼吸器疾患病態治療学演習Ⅰ」、「呼吸器疾患病態治療学演習Ⅱ」
薬学 研究指導科目	必修科目 「医療薬学特別研究」
	<p>臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学 医薬品の個別化適正投与をめざし、臨床ゲノム薬理学と分子薬物動態学を基盤とした以下のテーマに関する研究指導を行います。研究テーマの主題は「個の医療の確立」で、ゲノム薬理学、分子薬理学、分子薬物動態学、数理解析学を駆使した研究が主体となります。</p> <p>①薬物代謝酵素群および薬物標的分子をターゲットとする臨床ゲノム薬理学の確立および診断ツールの開発</p> <p>②アポトーシス誘導型抗がん剤の分子薬物動態を基盤にした、テーラーメイドがん治療への挑戦</p> <p>③疾病等による薬物代謝酵素活性変動の分子メカニズム解明と臨床現場への還元</p> <p>④より有効かつ安全な癌化学療法を目指した抗がん剤耐性機構の解明と抗がん剤感受性因子の探索</p> <p>天然薬物学 海洋生物や薬用植物などの天然由来資源から、医薬シーズとなる化合物を最新の知見をもとに開発したスクリーニング評価系を用いて探索します。見いだした生理活性化合物については、作用の解析や化学誘導による最適化など医薬品シーズとしての展開を図り、臨床適用可能な医薬リード化合物の開発をめざします。</p> <p>①PCA-1を標的とする分子標的抗がん剤リード化合物の探索研究</p> <p>②抗がん剤開発を指向した腫瘍血管新生阻害物質の探索研究</p> <p>③抗がん剤耐性克服物質の探索と耐性に関わる作用機序の解明研究</p> <p>④知覚神経系に作用する新規鎮痛物質の探索研究</p>

科 目 名

薬学 研究指導科目	分野名	<p>応用医療薬学</p> <p>医療における薬剤師の職能拡大を視野に入れ、特に薬剤投与に関する様々な問題点を明らかにし、その解決に必要なシステムやデバイスの研究開発や薬物療法の個別最適化をめざした研究を行います。また、セルフメディケーション・セルフケアに関連する研究も行います。具体的には以下に示す研究テーマに取り組み、薬剤師の社会的地位の向上をめざした研究を推進していきます。</p> <p>①自己注射（インスリン、成長ホルモンなど）の補助器具に関する研究 ②デバイスの違いが薬剤投与に与える影響に関する研究 ③薬剤投与における個別化医療に関する研究 ④薬学投与におけるママ・パパサポートに関する研究 ⑤セルフメディケーションにおける地域薬剤師の役割に関する研究</p>
		<p>免疫制御学</p> <p>がんや慢性炎症を克服するための新しい免疫制御法の開発をめざした研究を指導します。具体的には、免疫学および関連する細胞生物学や分子生物学などの手法を用いて、以下のテーマに取り組み、研究の立案と実施および研究成果の論文発表等に必要能力を養います。</p> <p>①免疫抑制性がん微小環境の形成とその制御に関する研究 ②がん幹細胞の同定とその免疫学的な制御に関する研究 ③炎症反応の免疫学的制御に関する研究 ④様々な疾患におけるサイトカインの役割に関する研究</p>
		<p>レドックス生物学</p> <p>活性酸素を健康作りに活用するための研究です。</p> <p>活性酸素分子種はフリーラジカルとして生体に酸化ストレスをもたらすのみならず、シグナル分子として細胞内情報伝達に関与し、生体の調節機構に重要な役割を担っています。分泌型スーパーオキシドジスムターゼは細胞表面の糖衣構造に親和性をもつ糖タンパク質です。分子生物学的手法を用いて変異を導入した組み換え形タンパク質を作製し、一次構造と酵素の分布に関する知見を積み重ね、活性酸素代謝を作用点とする創薬への応用をめざしています。</p> <p>①抗酸化酵素（特に分泌型スーパーオキシドジスムターゼ）による活性酸素代謝の生理的役割に関する研究 ②タンパク質の糖鎖修飾と細胞内分布に関する研究</p>
		<p>神経病態制御学</p> <p>慢性難治性疼痛や虚血性神経障害などの神経系における病態について、分子生物学的、電気生理学的、行動薬理学的手法を用いて解析を行い、その発生機序を解明するとともに、薬物による病態制御法の開発と臨床応用に向けてのシーズ探索を行います。</p> <p>①痛覚伝達系における疼痛関連受容体の機能調節に関する研究 ②痛覚伝達系における神経活性物質の発現調節に関する研究 ③慢性難治性疼痛発生と治療の分子メカニズム解明に関する研究 ④慢性難治性疼痛に対するシーズ探索に関する研究 ⑤虚血性神経障害の病態解析と治療法開発に関する研究 ⑥神経伝達障害の病態解析と認知症治療法開発に関する研究 ⑦神経疾患における漢方治療の効果とメカニズム解析に関する研究</p>

科 目 名

薬学 研究指導科目	分野名	<p>医薬品化学</p> <p>新規医薬品の開発とそれを支える基盤新技術の構築をめざして、次世代型薬化学研究を行います。有機化学的・物理化学的手法や方法論を駆使して、有機合成化学、触媒化学、医薬品化学、創薬化学を高度化するための研究指導を行います。以下に示す研究テーマに取り組み、高度な研究能力を養います。</p> <p>①環境に調和適合したカスケード型有機合成反応の開発に関する研究</p> <p>②新規ラジカル反応の開発とその立体制御に関する研究</p> <p>③新規な固体触媒や分子触媒の創製とその構造・機能評価に関する研究</p> <p>④触媒の酸化還元反応の開発とその反応機構の解明に関する研究</p> <p>⑤生物活性化化合物の合成と新規医薬品のシーズ創出に関する研究</p> <p>⑥不安定な反応活性種の動的変化の追跡と反応制御に関する研究</p> <p>⑦生理活性物質の生体内ダイナミクスの解析に有用な蛍光プローブの開発に関する研究</p> <p>⑧蛍光プローブの開発に資する新規蛍光色素の創製に関する研究</p>
		<p>創薬化学（2023 年度以降学生募集しません）</p> <p>製薬企業での創薬研究活動を基本とし、ADME 等も考慮した試薬開発ではない“薬”の探索合成を行います。また、独自に開拓してきたアフィニティ樹脂を用いた生理活性物質のターゲット探索に関する基盤技術を活用し、新規創薬ターゲット探索および生理活性物質のターゲット探索を行います。</p> <p>①新規抗がん剤の探索合成に関する研究</p> <p>国内外研究機関・企業と連携し創薬化学を実践する</p> <p>②生理活性物質のターゲット探索に関する研究</p> <p>ターゲット未知の開発（候補）品のターゲット探索等を行う</p> <p>③その他創薬開発に関する研究</p>
		<p>臨床医薬品化学</p> <p>「臨床」における「医薬品」に対して、「化学」を基盤とした研究を行います。実験を中心とした Wet 研究、データ解析を中心とした Dry 研究の実施が可能です。Wet 研究では、既存薬や既存薬の代謝物を新たな医薬品へと展開するドラッグリポジショニング、既存薬をリード化合物とした探索合成研究を展開します。さらに、2022 年度からは、有機反応開発の研究も行います。</p> <p>Dry 研究では、JADER および FAERS を用いた医薬品有害事象データベース研究を行っています。さらに、データベース解析から得られた情報を基にした臨床研究へと展開したいと考えています。また、薬剤師の質向上を目指した薬学教育研究も展開しています。</p> <p>①膠芽腫に対するドラッグリポジショニング研究（Wet 研究）</p> <p>②抗がん薬による心毒性発症傾向の解析および予防薬の開発（Dry & Wet 研究）</p> <p>③化学的な視点を基にした医薬品有害事象データベースを用いた種々の医薬品の有害事象解析（Dry 研究）</p> <p>④コバルトなどの金属を用いた有機反応開発（Wet 研究）</p> <p>⑤化学の臨床活用を目指した薬剤師教育プログラムの開発（Dry 研究）</p> <p>⑥薬剤師・薬学生の医学文献評価能力向上に向けた教育プログラムの開発（Dry 研究）</p> <p>⑦その他、薬学教育研究（Dry 研究）</p>

科 目 名	
薬学 研究指導科目	<p>微生物・寄生体学</p> <p>感染症の制御をめざし、血液感染症および新興再興感染症を中心に、薬理的、免疫学的、分子生物学的手法を主に用いて、感染機構の解明、薬剤感受性／耐性機構の解明、診断法、治療法、予防法の確立に関わる研究、ならびに疫学調査研究を行います。主な研究テーマは以下のとおりです。</p> <p>①病原体の感染性、病原性に関与する細胞内情報伝達機構の解明に関わる研究 ②病原体の薬剤感受性／耐性機構の解明に関わる研究 ③薬剤耐性獲得病原体の薬剤感受性回復誘導に関わる研究 ④新興再興感染症の診断、治療、予防に関わる臨床的研究 ⑤新興再興感染症の流行の実態解明に関わる分子疫学的研究</p>
	<p>微生物制御学</p> <p>感染症や微生物汚染・微生物劣化を招く有害微生物を分離同定し、性状調査や疫学的調査を行います。薬剤に耐性を示す有害微生物については、その耐性メカニズムを解明します。これらの情報を元に有害微生物の制御方法を提案、実施し、その効果を微生物学的、生化学的、分子生物学的方法を含む手法で評価します。評価結果に基づき、制御方法の改善に取り組み、新規微生物制御方法を開発します。</p> <p>①有害微生物の分離同定・性状調査に関する研究 ②有害微生物の疫学的調査に関する研究 ③有害微生物の薬剤耐性メカニズムに関する研究 ④環境調和型の新規微生物制御技術の開発に関する研究</p>
	<p>呼吸器疾患病態治療学</p> <p>高齢化社会や喫煙・大気汚染・アスベスト曝露などの環境要因から、現代社会では肺癌・悪性中皮腫などの呼吸器悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、アレルギー性疾患である気管支喘息、難治性呼吸器疾患である間質性肺炎・肺線維症、呼吸器感染症である肺炎・肺結核など多岐にわたる呼吸器疾患は、増加の一途にあります。しかしながらそれらの病態や治療法は十分に解明・確立されず、まだまだ未知の領域です。本研究指導科目分野では、(1) 臨床応用可能なバイオマーカーの確立、(2) 病態メカニズムの解明や (3) 新規治療法の開発などをめざして、細胞やマウスなどの動物を用いた基礎研究や臨床研究を行い、研究能力を養成します。そしてその研究成果を学会発表や論文発表して、学位取得できるように指導いたします。</p>

担当教員の連絡先

事前相談はまず下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

研究指導科目分野	担当教員	連絡先
臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学	南畝 晋平	nonen@hyo-med.ac.jp
	高良 恒史	ko-takara@hyo-med.ac.jp
天然薬物学	青木 俊二	aoki@hyo-med.ac.jp
	岩岡 恵実子	miiwaoka@hyo-med.ac.jp
応用医療薬学	藤野 秀樹	h-fujino@hyo-med.ac.jp
	木下 淳	at-kinoshita@hyo-med.ac.jp
	上田 寛樹	ueda@hyo-med.ac.jp
	村上 雅裕	aoyui@hyo-med.ac.jp
	伊藤 都裕	ito-s@hyo-med.ac.jp
免疫制御学	田中 稔之	tanaka@hyo-med.ac.jp
	上田 晴康	ueda-ph@hyo-med.ac.jp
	大野 喜也	y.ohno@hyo-med.ac.jp
レドックス生物学	大河原 知水	biochook@hyo-med.ac.jp
	三浦 大作	d_miura@hyo-med.ac.jp
	小渕 修平	kobuchi-s@hyo-med.ac.jp
神経病態制御学	山本 悟史	syamamot@hyo-med.ac.jp
	北中 純一	kitanaka@hyo-med.ac.jp
	山中 博樹	yamanaka@hyo-med.ac.jp
	田中 康一	koh-tanaka@hyo-med.ac.jp
	大谷 佐知	sachik@hyo-med.ac.jp
医薬品化学	宮部 豪人	miyabe@hyo-med.ac.jp
	甲谷 繁	kohtani@hyo-med.ac.jp
	塚本 効司	kotukamoto@hyo-med.ac.jp
	吉岡 英斗	e.yoshioka@hyo-med.ac.jp
	山岡 庸介	yyamaoka@hyo-med.ac.jp
創薬化学	田中 明人	(2023年度以降学生募集しません)
臨床医薬品化学	清水 忠	shimizu-t@hyo-med.ac.jp
微生物・寄生体学	長野 基子	nagano-fujii@hyo-med.ac.jp
微生物制御学	前田 拓也	maedat@hyo-med.ac.jp
呼吸器疾患病態治療学	田端 千春	ctabata@hyo-med.ac.jp

連絡先等を必ず明記のうえ、メールしてください。入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後の課題テーマの最終決定の段階によって、変更することも可能です。

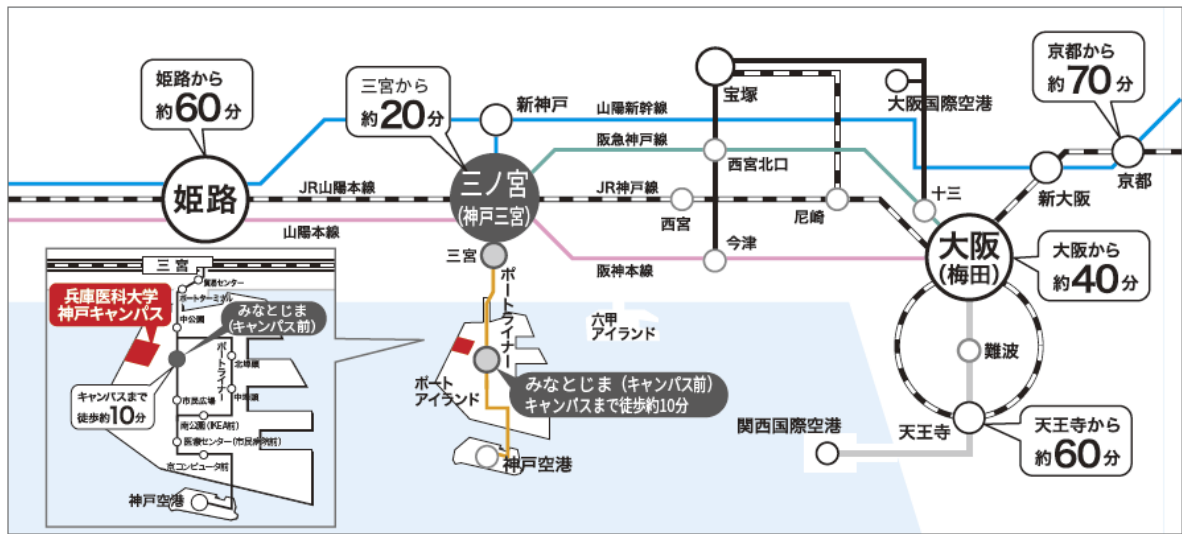
授業科目一覧

薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
薬学 専門基礎科目	先端医薬学特論Ⅰ	1前	1	
	先端医薬学特論Ⅱ	1前	1	
	先端医薬学特論Ⅲ	1後	1	
	先端医薬学特論Ⅳ	1後	1	
薬学 専門演習科目	医薬品創製科学演習Ⅰ	1通		4
	医薬品創製科学演習Ⅱ	2通		4
	免疫病態制御学演習Ⅰ	1通		4
	免疫病態制御学演習Ⅱ	2通		4
	神経薬理・薬物治療学演習Ⅰ	1通		4
	神経薬理・薬物治療学演習Ⅱ	2通		4
	微生物学演習Ⅰ(基盤的微生物学演習)	1通		4
	微生物学演習Ⅱ(先進的微生物学演習)	2通		4
	分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅰ	1通		4
	分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅱ	2通		4
	医薬品適正治療科学演習Ⅰ(分子薬物動態学演習)	1通		4
	医薬品適正治療科学演習Ⅱ(臨床ゲノム薬理学演習)	2通		4
	応用医療薬学演習Ⅰ	1通		4
	応用医療薬学演習Ⅱ	2通		4
呼吸器疾患病態治療学演習Ⅰ	1通		4	
呼吸器疾患病態治療学演習Ⅱ	2通		4	
薬学 研究指導科目	医療薬学特別研究	1~4 通	18	

試験会場アクセス

本学へのアクセス



京都	JR東海道本線	約50分	三ノ宮(三宮)	ポートライナー	(みなとじま キャンパス前)	徒歩	約10分	兵庫医科大学 神戸キャンパス
大阪	JR東海道本線	約20分						
明石	JR東海道・山陽本線	約15分						
姫路	JR東海道・山陽本線	約40分						
神戸	神姫バス(直通)	約15分						
					直通バス		約12分	

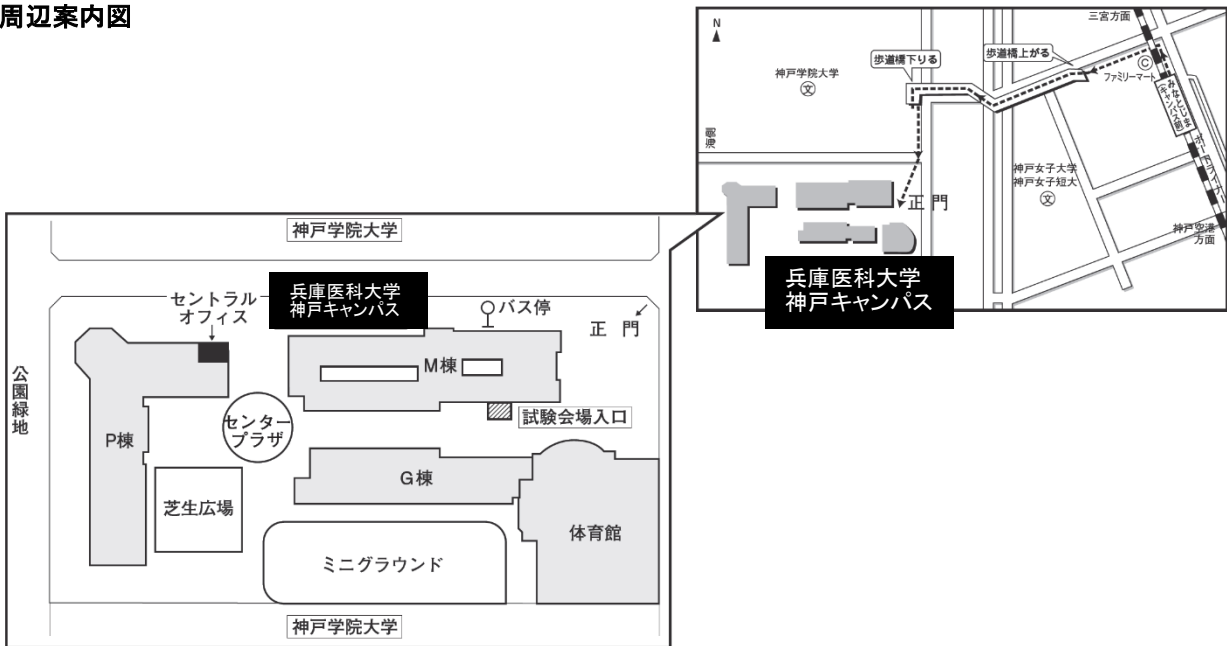
【三宮からのアクセス】

- ポートライナー「三宮」駅より「みなとじま(キャンパス前)」駅まで約9分、駅から大学まで徒歩約10分(ポートライナーは行き先問わず「みなとじま(キャンパス前)」に停車)
- 神姫バス「ポアキャンパス線三宮バス停」から「ポアキャンパス行き」に乗車約12分、ポアキャンパス東バス停下車すぐ

【神戸からのアクセス】

- 神姫バス「神戸駅南口」から「ポアキャンパス行き」に乗車約15分、ポアキャンパス東バス停下車すぐ

■周辺案内図





兵庫医科大学

兵庫医科大学（神戸キャンパス）
神戸市中央区港島 1-3-6
TEL.078-304-3014（大学院係直通）
E-Mail daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp